



vol. 22

◆地域の皆様と所沢ロイヤル病院を結ぶ広報誌

# はなみずき

発行 所沢ロイヤル病院 広報委員会 はなみずき編集部  
〒359-1152 埼玉県所沢市北野三丁目1番地11  
医療法人啓仁会 所沢ロイヤル病院  
TEL: 04 (2949) 3385 FAX: 04 (2949) 7872  
ホームページアドレス <http://www.wam-town.jp/k/tokorozawa/>

## 春号



平成23年2月1日発行

<病院理念>私たちは安全で良質な医療、心のこもった看護・介護、地域社会との連携を目指します。

# 迎春 新年会 迎春



フラダンス

平成23年1月12日に当院でも遅ればせながら、新年会を行いました。ボランティアの方々が各階にて「大正琴」の演奏や「フラダンス」を披露して下さいました。ボランティアの方に負けじと、当院のリハビリスタッフによる「獅子舞」を披露し、栄養科からは「お汁粉」を振る舞い、お正月気分を盛り上げさせていただきました。大正琴では「星影のワルツ」等懐かしの名曲を堪能させていただき、患者さまのみでなく、職員も楽しませていただきました。



大正琴



お汁粉



獅子舞・ひよっこ

# 今年の試練は病院機能評価!!



今年4月、当院には大きな試練が待ち受けております。『病院機能評価』、その名前をご存知の方もいらっしゃるでしょうか。一般的に良い病院かどうかは、その病院を受診もしくは入院された方々のクチコミによるところが多く、信頼性は曖昧で足を運ばなければ実際には判りません。しかし、『病院機能評価』は、専門的な知識を持つ第三者機関が中立の立場で多角的に審査を行なうものであり、その公平な視点に基づいた評価は**医療の質や安全性、提供サービス**について一定のクオリティを保証するものです。

当院では平成18年7月に機能評価の一回目の認定を受けましたが、認定自体が期間限定ですので有効期限が切れる年に再度審査を受けなければなりません。それが今年4月、というわけです。

機能評価の認定を受審するにあたり、私たちは7つの領域の審査をクリアしなければなりません。大まかに説明すると右表の通りですが、一領域につき小項目が約15～60項目程度あり、それら一つ一つを確認し、規定や指針、マニュアル、議事録等々の書類を整備し、サービス提供に係る職員の質の向上については研修実績はもちろん、審査員が覆面来院し、職員の対応を審査することもあるそうです。

受審するために質の向上を図るのではなく、ご来院頂いたすべての患者さま・ご家族さまの信頼とご期待にお応えするため、私どもは今回の受審に臨みます。職員一丸となって取り組みますので、今後とも宜しくお願い申し上げます。



領域	審査される内容
第一領域	【病院組織の運営と地域における役割】 設立趣旨、運営上の信念や基本精神を表現した『理念』、そして理念を達成・実現するために守るべき重要事項である『基本方針』についての取り扱われ方や病院組織の運営、情報管理機能についての体制等を確認する。
第二領域	【患者の権利と医療の質および安全の確保】 患者の権利と医療者の倫理や個人情報保護、そして両者間のパートナーシップが系統的に構築されているかを確認する。また、院内における感染予防管理や質の高い組織的チーム医療の提供が行なわれているかも審査される。
第三領域	【療養環境と患者サービス】 施設としての対外的なサービスが主に審査される領域である。病院の施設・設備の利便性や快適な療養環境の確保がなされているか、またプライバシーの保護を伴っているかの審査が行なわれる。また、患者さまやご家族さまに向けての相談窓口体制が充実しているか否かも吟味される。
第四領域	【医療提供の組織と運営】 診療部門、看護部門、臨床検査機能といった各診療部門の体制が整備され、円滑に機能しているかを審査する。ただ漫然と業務の質を保つだけでなく改善かつ向上を目指す姿勢と努力、そして実績を提示しなければならない。

領域	審査される内容
第五領域	【医療の質と安全のためのケアプロセス】 病棟における医療の方針や責任体制が整備されているか否か、ケアサービスが適切に実施されているかを審査される。この領域については検査手順や投薬・注射の安全確保が行なわれ、それがマニュアルや記録に掲載されているか否かの吟味も細かく行なわれる。
第六領域	【病院運営管理の合理性】 人事・労務管理、財務・経営管理が合理的かつ適切に行なわれているか否かの実績確認や、施設・設備管理や物品管理、医療廃棄物処理の適切な管理がなされているかを確認される。
第七領域	【精神科に特有な病院機能】 —
第八領域	【療養病床に特有な病院機能】 病院の適切な受け入れ体制の整備と人権の配慮がなされているかの確認。また、褥瘡や嚥下機能障害など療養病床に多く見られる症状に対し特化した治療やケアを行なうための十分な体制や技術手順を確保し整備されているか否か。

## Happy Christmas

12月22日、24日クリスマス会を開催しました。多くの患者さまに楽しんで頂けるように、会場に集まってイベントをするのではなく、職員がサンタクロースやトナカイに扮し、各階の病棟へ訪問。「赤鼻のトナカイ」や「もろびとこぞりて」などのクリスマスソングを患者さまと一緒に歌いました。リハビリスタッフによる「きよしこの夜」のハンドベル演奏は、ベルの澄んだ音色が美しく、心を清らかにしてくれました。



## よりよい医療のために!! ~リハビリテーション科勉強会~

リハビリテーション科では、療法士全員を対象に毎月定期的に行っている勉強会が3つあります。①まず、アンケートで選出された症例についての症例検討会、②次にPT（理学療法）、OT（作業療法）、ST（言語聴覚療法）からそれぞれ1名ずつ計3名がチームとなり興味のある事について調べ発表をおこなうグループ発表、③病院内外の講師からより専門的な知識を得る勉強会です。その他、入職1年目の療法士は全員、新人発表と呼ばれる症例発表を毎月行っています。また、各職種での勉強会や、有志での勉強会などの小規模なものも挙げると、1ヶ月のうちでもかなり多くの勉強会が開催されていることとなります。

これらの勉強会の目的は、療法士が技術や知識を深め共有するという事にあります。それに加えて、仲間がどのように考えどのように行動したか、どんなことに興味を持っているか、などを知る事によって、他職種への理解を深めることと当院リハビリテーション科としての方針を共有することができるという、チームアプローチを円滑にする役割も担っています。



# みるみる！ろいやるん♪

## ～二十四節気ってなんだろう??～

新年を迎えてはや一ヶ月、節分の翌日、2月4日は立春ですね。まだまだ寒さが厳しい時期ではありますが、旧暦では1年の始め、春の始めとされます。八十八夜、二百十日など、すべてこの立春から数えてのことだとはご存知でしたか？それでは2月19日は？答えは雨水です。雪が雨に変わり、雪や氷は溶けて水となる、の意味があります。立春、雨水・・・などなんとも味わい深く季節感のある表現ですね。

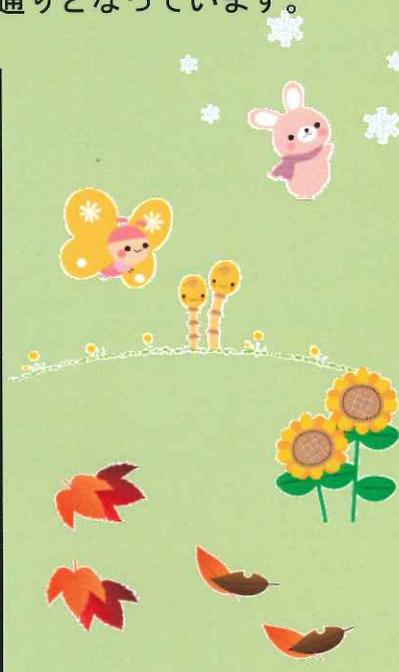
こうした日本の旧暦は中国の二十四節気(にじゅうしせつき)をもとにして作られました。二十四節気は、中国の戦国時代の頃に太陰歴による季節のズレを正し、季節を春夏秋冬の4つに分けるために考案された区分手法のひとつ。1年を12の「中気」と12の「節気」に分類し、それらに季節を表す名前がつけられています。

日本では江戸時代の頃から二十四節気が使われているそうですが、中国の気候を元に名付けられたために、日本の気候に合わない名称・時期もあり、それを補足するために二十四節気のほかに土用・八十八夜などの「雑節」が加わりました。これが日本の旧暦となったのです。

二十四節気の日付は年によって変動しますが、今年はこちらの通りとなっています。

平成23年度 二十四節気一覧

	節(せつ)		中(ちゅう)	
1月	小寒(しょうかん)	1月6日	大寒(だいかん)	1月20日
2月	立春(りっしゅん)	2月4日	雨水(うすい)	2月19日
3月	啓蟄(けいちつ)	3月6日	春分(しゅんぶん)	3月21日
4月	清明(せいめい)	4月5日	穀雨(こくう)	4月20日
5月	立夏(りっか)	5月6日	小満(しょうまん)	5月21日
6月	芒種(ぼうしゅ)	6月6日	夏至(げし)	6月22日
7月	小暑(しょうしょ)	7月7日	大暑(たいしょ)	7月23日
8月	立秋(りっしゅう)	8月8日	処暑(しょしょ)	8月23日
9月	白露(はくろ)	9月8日	秋分(しゅうぶん)	9月23日
10月	寒露(かんろ)	10月8日	霜降(そうこう)	10月24日
11月	立冬(りっとう)	11月8日	小雪(しょうせつ)	11月23日
12月	大雪(たいせつ)	12月7日	冬至(とうじ)	12月22日



### お知らせ

#### 節分の日に鬼来る!



お手柔らかに  
お願いしますネ!

今年も節分の日のために鬼がやってきます！2月3日(木)近くに「豆ぶつけてくんろー」と仁王立ちしておりますので、豆をぶつけてあげたい方は是非、1階ロビーにて前年の邪気を祓い、福を呼びましょう。

#### 春のうららの演奏会



春爛漫の暖かな日は、優しい音楽をBGMにゆったりとした時間を過ごしたいですね。現在、ボランティア委員会では春のうららの演奏会を企画中です。春といえば皆さまはどんな曲をお聴きになりたいですか？リクエストがあればボランティア委員会までお寄せ下さい。

#### 編集後記

少し遅いですが、明けましておめでとうございます。季節が過ぎるのは早いもので、新年会も終わり、もう節分を迎えてしまいました。インフルエンザ等、感染症が流行る時期ですが、院内では、手洗いや消毒等を徹底し、職員一同感染予防に力を入れています。この記事をお読みの皆様も、是非とも手洗いやウガイを実践し「福は内～！ 菌は外～！」と叫びながら豆をバイ菌君にぶつけて下さい。私は今のところ、菌を寄せ付けていないようです。金も寄せ付けていないようですが(泣)

医療福祉連携室 鍋木